

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	900 救急講習会開催事業					担当部課	消防本部救急課
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費					担当部課 係名	消防本部救急課
市長公約							
戦略プラン					新規・継続	継続	
					事業分類	自治事務（任意）	
					事業体制	職員のみ	
個別計画						事業期間	毎年度
根拠法令等	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱					SDGs	03すべての人に健康と福祉を

事業の概要

対象	市民
目的	救急車の現場到着前に適切な応急手当を実施できるバイスタンダーを養成し、救命率の向上を図る。
概要 (取組内容)	<p>応急手当講習会開催コース 上級救命講習（8時間）、普通救命講習Ⅰ（3時間）、普通救命講習Ⅱ（4時間）、 普通救命講習Ⅲ（小児・乳児対象3時間）、その他の救急講習及び救命入門コース（90分、45分） 応急手当指導員及び応急手当普及員の養成 サンキューカードの配布 バイスタンダー（現場に居合わせた人）にサンキューカード（応急手当に対する感謝と応急手当をした ことで不安を感じた場合の連絡先を記載したカード）を配布</p>

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	11,972	1,381	1,381	946	946	
	決算額	(千円)	13,254	751	952	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,579	751	952	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	3,675	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,797	3,612	3,601	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.00	0.50	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	80.00	80.00	80.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	突然倒れた人や反応のない人を見たらバイスタンダー（その場に居合わせた人）による「早期認識と通報」及び「一次救命処置」の応急手当が重要であることを理解してもらう。
企画・立案、計画	個人での受講希望者には定期的な講習会を計画する。団体での申し込みにおいては随時適切に対応する。
実行	受講者の人数にあわせて、講師を適切に派遣する。
評価、検証	アンケートや感想文での評価や検証を行う。

指標の推移

指標名	応急手当講習受講者数 (人)					成果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1 目標値	6,500.0	6,500.0	6,500.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0
実績	5,791.0	1,101.0	1,809.0	3,294.0	0.0	0.0
指標の概要	普通救命講習Ⅰ、普通救命講習Ⅱ、普通救命講習Ⅲ、上級救命講習、救命入門コース、その他の救命講習の受講者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	昨年に続き、感染予防対策を取った上で救急講習会を実施したことで、各コースとも受講者数は増加した	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	市民から受講希望が多数寄せられる事業である。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	083 救急機器整備事業					
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
根拠法令等	消防法、医療法施行規則					

事業の概要

対象	職員
目的	各救急隊が救急活動時に使用する資器材を配備し、維持管理を行う。
概要 (取組内容)	救急活動時に必要な資器材の点検、修繕及び救急用消耗品の購入を年度計画に基づいて実施する。 ※令和3年度に「896 消防機器整備事業」から一部事業を移管。令和2年度以前のデータは「896 消防機器整備事業」を参照。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,538	9,862	10,252	10,252	
	決算額	(千円)	0	13,758	8,474	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	13,758	8,474	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	6,834	6,810	6,810	6,810	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急自動車の資器材点検と消耗品の補充 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	実績	0.0	0.0	9.0	9.0	0.0	0.0
指標の概要	常時、稼働中の救急自動車9台に積載している資器材の点検と消耗品の補充						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	救急活動時に必要な資器材の点検、修繕及び購入が計画どおりに実施できた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	継続的に救急資器材の点検と資器材の補充を行う必要がある。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	084 救急教育研修事業					
予算科目	01-090101-15 救急業務に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	救急業務実施基準			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	職員
目的	救急業務に携わる職員への教育や研修を行い、医学知識や救急技術の向上を図る。
概要 (取組内容)	病院研修や学会発表等を通じて、救急業務に携わる職員への医学的な質の向上を行う。 ※令和3年度に「897 各種災害統計事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「897 各種災害統計事業」を参照。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	3,538	2,608	2,296	2,296	
	決算額	(千円)	0	2,202	2,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	2,202	2,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	6,834	6,810	3,405	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.00	1.00	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急救命士の研修 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	73.0	87.0	96.0	0.0
	実績	0.0	0.0	68.0	77.0	0.0	0.0
指標の概要	救急救命士数93名。就業前病院研修、病院実習、気管挿管研修、学会等での発表を行う。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	救急救命士就業前研修 8 名、病院実習 64 名、気管挿管研修 5 名が医療機関の協力により実施できた。茨城県救急医学会と関東救急隊員学術研究会で 1 名の者が発表を行った。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	救急業務に携わる職員への教育や研修は、継続的に必要なため。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	085 救急自動車更新整備事業					
予算科目	01-090103-15 救急車両に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	救急車両更新整備計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等				SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	職員
目的	災害から市民の生命、身体及び財産を保護するとともに、災害等による傷病者の搬送を適切に行う。
概要 (取組内容)	救急需要の増加に応じた救急車両更新整備計画の見直しを定期的に行い、救急自動車の更新を行う。 ※令和3年度に「902 緊急自動車更新整備事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「902 緊急自動車更新整備事業」を参照。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	41,044	41,091	0	41,000	
	決算額	(千円)	0	40,341	40,613	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	40,341	40,613	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,417	3,405	0	3,405	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.50	0.00	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急自動車の更新 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	1.0
	実績	0.0	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0
指標の概要	更新予定の救急自動車の台数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	令和4年度更新予定の北高規格救急車を予定どおりに更新した。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	増加する救急出場に対応すべく、継続して車両更新を実施する必要があるため。	

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	086 救急自動車管理事業					
予算科目	01-090103-15 救急車両に要する経費			担当部課	消防本部救急課	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	道路運送車両法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	

事業の概要

対象	職員
目的	救急出場に備え救急自動車を常に良好な状態に保ち、迅速かつ的確に対応できる車両の運用を図る。
概要 (取組内容)	救急自動車の日常点検、定期点検及び法定点検を通年実施し、良好な車両状態を保つとともに、必要に応じて修繕を行う。 ※令和3年度に「903 緊急自動車管理事業」から事業を一部移管。令和2年度以前のデータは「903 緊急自動車管理事業」を参照。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	0	9,384	10,755	12,249	0	
	決算額	(千円)	0	8,122	10,841	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	8,122	10,841	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	3,417	3,405	6,810	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.50	0.50	1.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	救急自動車等の維持管理 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0	12.0
	実績	0.0	0.0	12.0	12.0	0.0	0.0
指標の概要	救急自動車等保有台数12台（救急車9台、救急予備車2台、普及啓発車1台）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	救急自動車の日常点検を職員が毎日朝夕の2回行い、また、定期点検と法定点検を専門業者に依頼し実施したことにより、良好な車両状態を保つことができ、事故防止が図られた。	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	救急出場件数の増加やガソリン代の高騰等により、燃料費の支出が当初予算の予定額を超えてしまった。
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	-	ニーズが不明である。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続	
理由	救急車両を安全に運用する上で、車両の点検整備は継続的に実施する必要があるため。	